

令和元年度 磐田市立神明中学校 学校評価書(案)

※A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
「進んで、さわやかに」をすすめる	「おはよう、こんにちは、失礼します、さようなら等」からコミュニケーション力の向上を目指す。 - 授業での元気のよい挨拶	- 挨拶がしっかりできているか。 - 地域の人に挨拶をしているか。	A B	○【考察】 ・生徒89%(H30:89%・H29:92%)、保護者82%(H30:87%・H29:82%)、教職員89%(H30:86%・H29:85%)、協議委員100%(H30:100%・H29:100%)が、本校の生徒は挨拶ができていると評価している。今年度も生徒会や保護者、教師による「あいさう運動」を継続的に、また発表に行ってきた。校内ではさわやかな挨拶やコミュニケーションができていた反面で、保護者や協議委員からは、様々な場面での自主的な挨拶、地域での挨拶には課題があるという意見もあった。 ※【改善】 ・「人とつながる力」の育成:校内だけでなく、地域や家庭とも目標や願う姿を共有し、大人も子供も、「自分からあいさつ・温かなあいさつ」を実行することによって、温かな学校づくり、温かな地域づくりに貢献し、生徒のコミュニケーション力を高めていきたい。	◆【御意見】 ◆こちらから「あいさつ」すれば返ってくるが、生徒側からは、ごく一部で「あいさつ」してくる。(地域) ◆自分から進んでできる生徒が少ないように見受けられた。 ◆年頃のためか、シャイなところがあり、進んで挨拶をする子供が少ないと思います。こちらから声を掛けるとしっかり返してくれます。 ◆登下校時、すれ違うときは、あまりしないように思う。◆学校内でのあいさつはしっかりできているものと思うが、地域の人たちに対しては、恥ずかしさからか、しっかりできていない面もある。 ◆地域の中では恥ずかしいのか少ない。 ◆昨年12月7日午前6:50ごろに散歩で、野球場の横を通ったときに、やや遠い距離から大きな声で挨拶をされて、その日はすがすがしい気持ちになった。 ◆私の子供もそうですが、こちらから挨拶をすれば返してくれます。生徒さんからの挨拶は少ないです。
粘り強く、「挑戦」をすすめる	- 授業に集中し、自主学習に挑戦する。 - 行事や部活動、各種大会、コンクール、検定試験等への挑戦	- 授業の内容が分かっているか。 - 家庭学習の習慣を大切に、宿題や予習・復習などの学習に取り組めたか。 - 学校行事や部活動、各種大会・コンクール等に積極的に挑戦できたか。	A A A	○【考察】 ・生徒84%(H30:84%・H29:80%)、保護者73%(H30:72%・H29:71%)、教職員94%(H30:96%・H29:85%)が、生徒は基礎的・基本的な内容が理解できていると評価している。また、生徒74%(H30:74%・H29:76%)、保護者66%(H30:69%・H29:63%)教職員86%(H30:93%・H29:66%)が生徒は家庭学習の習慣が定着していると評価している。学校行事では、生徒97%(H30:94%・H29:95%)、保護者95%(H30:95%・H29:92%)、教職員100%(H30:100%・H29:97%)が肯定評価している。部活動では、生徒95%(H30:91%・H29:95%)、保護者91%(H30:89%・H29:90%)、教職員96%(H30:96%・H29:97%)が肯定評価をしている。生徒は、今年度も行事や部活動に意欲的に挑戦し、充実感を得ている。 ※【改善】 ・「自分をふかめる力」の育成:「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学習内容を深く理解し、教科横断的な資質・能力を身に付け、生涯にわたって主体的に学び続けられる力の育成を目指す。そのため、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを確立したい。	◆【御意見】 ◆文化活動や体育活動の様子から、充実していると思う。 ◆楽しく取り組んでいるように見受けられます。もう少し積極性が欲しい。 ◆毎日、生徒の学習や行事の様子を見ているわけではないので、はっきりしたことはわかりませんので、推測です。 ◆交流センター長から積極的に協力をしていただいているとの話がありました。
「ボランティア」をすすめる	奉仕活動・福祉活動・環境整備を通して、思いやる心を育成する。	- 奉仕活動、福祉活動等に進んで取り組めたか。 - 福祉活動等を通じて、思いやる心の育成ができたか。	A B	○【考察】 ・生徒57%(H30:52%・H29:61%)、保護者53%(H30:47%・H29:52%)、教職員93%(H30:90%・H29:94%)、協議委員100%(H30:88%・H29:90%)が、生徒はボランティア活動に進んで取り組んでいると評価している。今年度も、総合的な学習の時間「アクティブタイム」やボランティア活動を通して多くの生徒が福祉活動に進んで取り組むことができた。また、本校生徒のボランティア活動参加人数は磐田市の学校の中でも比較的に多い状況である。 ※【改善】 ・「社会とつながる力」の育成:今後も、学校文化「福祉の神明」づくり(「アクティブタイム」の充実、ボランティア活動の紹介の工夫、生徒会による福祉活動の工夫)を更に推進していく。一層、地域と連携をして、生徒のボランティア活動を実生活につながるものに深化させていきたい。	◆【御意見】 ◆地域活動に関心をもち、交流センターでのボランティアや環境美化等にも協力的である。ジュビロマラソン等での活躍が印象に残ります。 ◆うさぎ山クリーン大作戦には、大変ありがとうございました。 ◆自治会の活動にも多く参加してくれています。 ◆ボランティア活動には、協力いただいている。ありがとうございます。 ◆地域行事でお願いしているボランティアについては、積極的に参加してくれて、本当に助かっている部分と、こちらの指導の不備もあるが、遊びの延長感覚でいることも多い。 ◆積極的な生徒が多い。無関心な生徒もいる。 ◆うさぎ山クリーン大作戦の作業時に大勢の御協力をいただいて、大変感謝しています。生徒の皆さんのおかげで、整備がすごく進みました。

学校関係者評価を受けてのまとめ

- 【成果】「授業の内容がある程度理解できる」や「先生は授業を工夫している」といった授業に対する生徒や保護者の満足度が毎年向上している。(生徒最高評価 H29:19%⇒H30:34%⇒R1:39%、保護者最高評価:12%⇒67%⇒70%) また、進路指導(生徒最高評価:29%⇒37%⇒47%)早寝早起き(24%⇒27%⇒31%)が、3年連続で最高評価が伸びている。さらに、「落ち着いた生活をしている」(肯定評価94%⇒96%)「いじめのない明るく楽しい生活をしている」(肯定評価96%⇒97%)といった生活面の評価でも生徒や保護者からの高い評価が出ている。
- △【課題】「交通ルールやマナー」(生徒最高評価73%⇒70%)、「将来の夢や目標」(生徒最高評価45%⇒41%)に関する生徒の評価が低下している。学校安全に対する組織的取組の充実を図る必要がある。特に、教科等における安全学習と計画的な安全指導が実施できるよう、安全教育の3領域(生活安全・交通安全・防災安全)をバランスよく全体計画及び年間指導計画に配置し、相互に関連させて実施していくことが求められる。さらに、学級活動を軸としたキャリア教育の工夫改善が求められると考える。これらの課題については、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、「共に子供たちを育て、共に地域を創る」という理念に立ち、家庭や地域に対して学府や学校の運営方針を発信し、より多くの地域住民の参画を実現していく必要があると考える。保護者からの挨拶の評価が低下している(保護者最高評価57%⇒49%)点も注視していく必要がある。子供に求めるだけでなく、地域の中で私たち大人がどのような挨拶を子供たちにしているのかを振り返り、温かな挨拶が響き合う地域づくりに貢献していきたい。
- ◎【来年度の重点】
- 地域と協力して学府として子供たちの資質・能力を育む:子供たちに育成を目指す資質・能力として、みやのもり学府では「社会とつながる力・人とのかかわる力・自分をふかめる力」と設定した。神明中学校区の小中学校で共有するだけでなく、地域や家庭とも共有し、一人一人の生徒を大切にして、「夢をもちたくましく生き抜く子供」を目指していきたい。
- 来年度の教育活動についても、よりきめ細やかで生徒一人一人を真に大切にする温かな学校「ファミリー神明」を経営方針の根幹に据えていきたい。特に、「人権意識に基づく社会性の育成」「新学習指導要領の理念に基づく授業改善」「組織力を生かした質の高い指導・支援」といった三つの柱を方針として示している。
- 本校の教育課題については、「不登校を減らす組織的な取組の必要性」が指摘されている。学校・家庭・地域が丸となって、子供たち一人一人を真に大切にする教育、誰でも学校に行きたくなる教育を一層実現していくことが必要である。